

## 日語研究最新情報 語料及日語研究

15



語言的研究，一般來說主要是使用語料來進行的。尤其是書面語的研究，多以報紙、雜誌、書籍等印刷品為研究對象。語言史方面的研究，則以書寫於文獻資料中的語言為對象。近年來，日語相關資料庫或各種電子資料逐漸在線上公開。本研習營將以資料庫為中心，聚焦於「語料及日語研究」，介紹目前的研究方法及研究成果。

ことばの研究は、言語データを用いて進めるのが一般的である。特に、書き言葉の研究では、新聞、雑誌、書籍など印刷物を対象にする。ことばの歴史研究では、文献資料に書き留められたことばを対象にする。最近は、日本語に関するコーパスやさまざまな電子化資料(言語資源)がネット上に公開されつつある。このセミナーでは、コーパスを中心に、「言語データと日本語研究」に焦点を絞って、研究方法と研究成果を紹介する。



# 日本語研究最先端情報

## 言語データと日本語研究

2016.09.20

16

### 講 題 / テーマ：

日語資料庫的調查方法—資料庫檢索應用「中納言」入門—  
日本語コーパスの調查方法—コーパス檢索アプリケーション「中納言」入門—

### 主講人 / 講演者：

小木曾智信（國立國語研究所言語資源研究系准教授）



▲小木曾智信先生講演

本演講目的在介紹有關國立國語研究所開發的日語資料庫的使用方法。首先，解說資料庫的設計方針及資料庫中的形態資訊（短單位・長單位）之後，接著利用在 web 上的公開資料庫「中納言」進行資料庫的檢索及統計方法的說明。同時介紹『現代日本語書き言葉均衡コーパス』及『日本語歴史コーパス』，說明實際運用資料庫進行日語調查及研究時必須注意的事項。

国立国語研究所で開発された日本語コーパスの利用方法について解説する。コーパスの設計方針と、コーパスに付与された形態論情報（短単位・長単位という二つの単語の情報）について解説したのち、Web上で公開されているコーパス検索アプリケーション「中納言」を用いてコーパスを検索し、集計する方法を説明する。また『現代日本語書き言葉均衡コーパス』と『日本語歴史コーパス』の利用例を示し、実際にコーパスを日本語の調査・研究に活用する際の注意点について述べる。



講 題 / テーマ：

表記辞典與資料庫

表記辞書とコーパス

主講人 / 講演者：

高田智和（國立國語研究所理論・構造研究系副教授）



▲高田智和先生演講

日語表記中有各式各樣的書寫區分。例如同音異義語（「改訂・改定」等）、異字同訓（「熱い・暑い・厚い」等）、送假名（「受け付け・受付」等）等等。因此，收集不知如何書寫的問題語例並匯整成一本表記辞書有其必要。本演講中將針對發表者參與編修表記辞典的修訂進行報告。此修訂雖然是配合 2010 年的改定常用漢字表而進行，然而在判斷語例的增刪上，則是參考書面語資料庫、詞彙調查現況及 www 上的使用頻率。

日本語表記には様々な書き分けがある。同音異義語（「改訂・改定」等）、異字同訓（「熱い・暑い・厚い」等）、送り仮名（「受け付け・受付」等）などである。そのため、どう書いたら良いか、問題となる語を集めた表記辞書が必要となる。本発表では、発表者が携わった表記辞書の改訂について報告する。2010年の改定常用漢字表を反映させるための改訂であったが、語例の追加や削除の判断には、書き言葉コーパスや語彙調査に基づく使用実態、WWWでの使用頻度を参考にした。



▲學生提問



# 日本語研究最先端情報 言語データと日本語研究

2016.09.20

18

## 講 題 / テーマ：

利用古代的辭典解讀日本古典文獻  
古辭書を用いた日本古典の解読

## 主講人 / 講演者：

藤本灯（国立國語研究所言語變化研究領域特任助教）



▲藤本灯先生演講

閱讀平安時代文獻的時候，爲了得知文章中的漢字讀音，利用當時日本的辭典（＝古辭書）是最常見的方式。本演講除了介紹具代表性的平安時代辭典之外，也以『今昔物語集』爲例，解說如何使用古代的辭典解讀日本古典文獻。另外，也會提及日本古代的辭典資料庫化時產生的問題與課題。◆

平安時代の文獻を読むとき、その文章に用いられた漢字の読み方を知るためには、当時の日本の辭書（＝古辭書）を利用するという手法が最も一般的である。代表的な平安時代の古辭書を紹介するとともに、これらの古辭書を用いた日本古典の解読方法を、具体的に『今昔物語集』の例を挙げながら解説する。また、日本の古辭書をデータベース化する際の問題点、課題についても触れる◆

